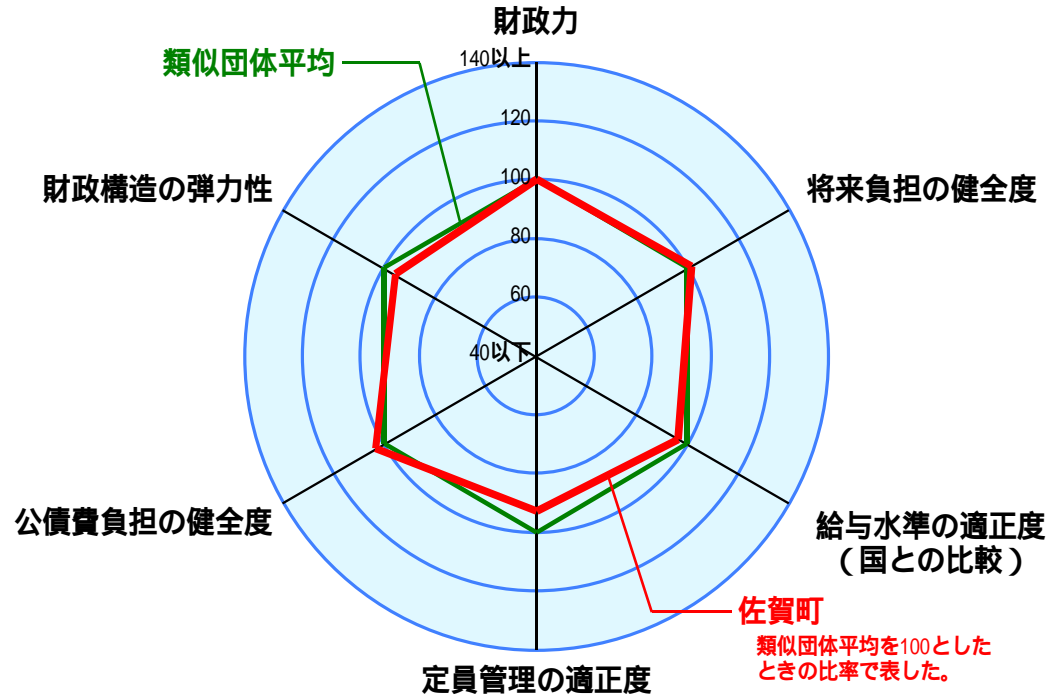
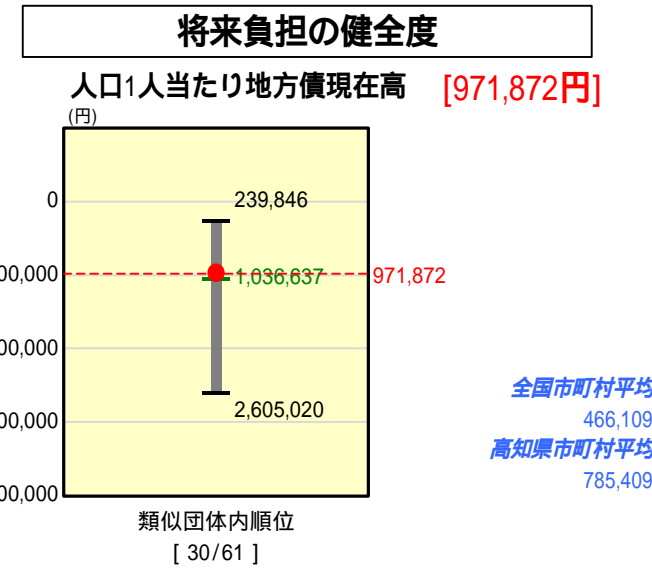
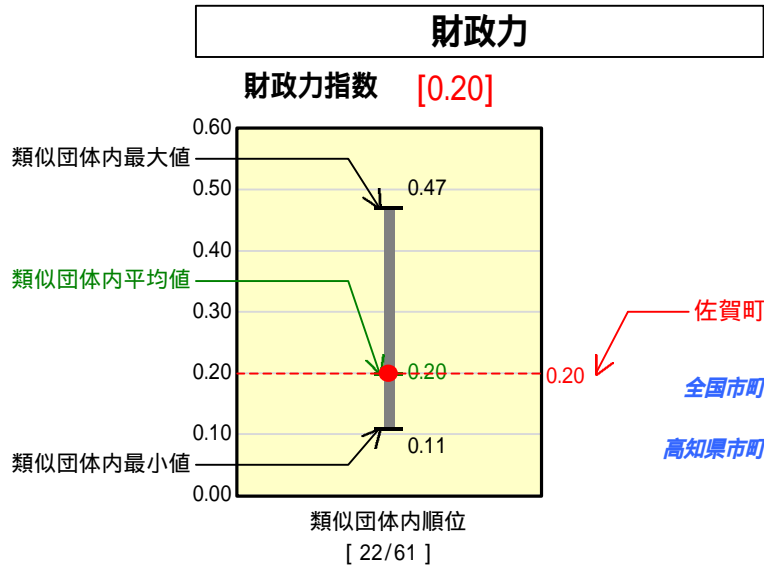


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

高知県 佐賀町

人口	4,245 人(H17.3.31現在)
面積	75.84 k m ²
歳入総額	2,790,079 千円
歳出総額	2,739,829 千円
実質収支	49,322 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】
・ここ数年わずかながら上昇しているものの、長引く景気の低迷による個人・法人関係（主に漁業・建設業）の減収などから、類似団体の中ではほぼ平均並であるが、県下市町村平均をやや下回る。退職者不補充等による人件費の削減や普通建設事業の抑制等により歳出を抑えたとともに、県下で上位にある税率の徴収率は、今後も維持していかなければならない。

【経常収支比率】
・経常経費の節減に努め、繰上償還（H13年度まで実施）の効果により公債費が減少しているものの、人件費や扶助費の増加により92.2%と類似団体平均を大きく上回っている。退職者不補充による人件費の削減、補助金の見直し、地方債発行の抑制による公債費の縮減に努める。

【起債制限比率】
・繰上償還により公債費が減少し、類似団体平均を下回っている。計画的な事業の実施により地方債の発行を抑制し、引き続き水準を抑える。

【人口1人当たり地方債現在高】
・類似団体平均をわずかながら下回っているものの、県下市町村平均はかなり上回る。交付税措置のない起債の借入は極力しない等、計画的な事業の実施が必要である。

【ラスパイレス指数】
・給与体系については、高齢者対策の導入が遅れたうえ経過措置を設け、また給料表の継ぎ足しの見直しをしなかったことから、類似団体平均を1.2上回った。

【人口1,000人当たり職員数】
・定員適正化計画については平成13年から5カ年計画で行っていたが、平成18年3月20日の合併後、定年退職の一部不補充により、10年間で15%の削減を目標とする。

